

(様式3)

## 自己評価結果票 (南ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>当施設の方針にも家族との交流のみならず、地域との交流も積極的に取り入れると掲げている。散歩等で地域の方達とも馴染みの関係ができ温かく受け入れていただいている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝朝礼時に運営理念と唱和し、それに基づいたサービスの提供を心掛けている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営理念を明文化、提示し、家族の方には行事や面会等で説明している。又、運営推進委員等で地域代表の方々にも理解して頂いている。</p>	
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩は日課としているので、近隣の方々に声をかけて頂いたり、又お店等も温かく受け入れて頂いているが、まだグループホームには来て頂いていない。</p>	<p>現時点では、まだ近所の方々に気軽に立ち寄って頂ける様にはなっていない。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>まだ自治会・老人会等には参加出来ていないが、地区や小学校の運動会、地区のお祭り等にも招待して頂き参加している。</p>	<p>地区の代表の方にお問い合わせしているが、今のところ地区の老人会等には参加して頂いていない。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	業務以外に地域の高齢者が参加される行事に定期的にお手伝いしたり、独居老人宅に配る弁当作りに参加している。		運営推進委員会のなかで、介護者教室の開催などの要望があり、取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	自己サービス評価に基づきチェックしている。		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヵ月に1回開催しており、第三者評価の状況、説明等を行っている。又、会議の度サービスの状況を説明しており、意見交換を行っている。		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	地域ケア会議に出席している。又、市町担当者の方にお互い相談している。		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	勉強会等で説明し、ユニット会議等で話し合う機会を持っている。南ユニットでは該当者はおられないが北ユニットでは1名おられる。		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	勉強会で機会を持っている。グループホーム内でも注意を払っており、今の所無いと思っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	極力異動機会は少なくしている。他事業との関連で止むを得ない範囲で考えている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	OJTに重点を置き、園内研修の精度を上げる。また、グループにおいて教育委員会を設置し、月に3回の勉強会を実施している。		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	運営者・管理者間のネットワーク作りを推進している。		現在では、確固たるネットワークの構築まではいたっていないが、プライベートな部分での情報交換は行っている。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	懇親会等の実施。定期的に個人面談（ヒヤリング）を実施している。		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	資格の再評価、計画的、継続的な勉強会の実施		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	面接を行い、本人様の思いや希望を聴く機会を作っている。受けとめ、出来るだけ近づける様で努力している。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	面接時に話し合い、ご家族の思いを受けとめる努力をしている。	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	必要とされていることを見極め支援している。他サービス（施設）も含めた対応をしている。	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前にご家族・ご本人の意向を聞き、1ヵ月間のケアプランを作成して説明し、納得して頂いた上で様子を見ながらサービスを行い、又1ヶ月後にケアプランの見直しを行っている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	敬う気持ちを忘れずに、人生の先輩として学んだり、喜びや悲しみを共にしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	利用者の方の苦情や思いを常に傾聴し、問題等を早期に解決して心身の負担軽減に努めている。又常にご家族と相談、連絡して協力頂いている。		
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	問題発生時など速やかのご家族に連絡し、理解と協力を頂いている。又ご利用者の思いが強い際には、電話して頂き安心して頂いている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	老人会、サークル仲間の方々が時折面会に来られ、一緒に過ごされる。又短歌会等に月に一度投稿される等、在宅時と変わらぬ関係を保っておられる。		
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いが仲間意識を保たれているも、認知症の進行によりトラブル発生時には、職員が合い入らせて頂いている。		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在のところ、当グループホームでは該当者は居られないが、街で見かけると挨拶を行う間柄である。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ケアプランの見直し時、又必要に応じて個々にお聞きした事や、普段の会話から聞き取ったりして把握に努め、又対応できることは対応している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族や面会に来られた知人の方等にお聞きしたり、個人との会話により把握している。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>個々の能力に合わせた声掛けや介助を行っている。集団の中でも個人が能力を発揮できるようにしている。</p>	
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的、又必要に応じてケアプランの総括を行っている。希望などもお聞きし、ケアプランに反映させる。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>急な状態の変化等が生じた場合は行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテ、連絡帳を活用したり、必要に応じてユニット会議で話し合い記録に残している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	お一人お一人のその日の状況や状態を見ながら支援し、又ご家族の状況も理解し支援している。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	小学校の学習の一環として来られたり、又避難場所にも協力して頂いている。又消防署は避難訓練や救命講習又ボランティア、警察も暖かく協力して頂いている。		運営推進委員会にて地区代表の方々の協力もあり、民生委員の方に出席していただいている。地域のケア会議などで民生委員の代表の方と関係作りをはじめている。
41 他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ケアマネジャーの方に必要に応じ相談にのって頂いている。又地域の他の事業者の方とも連絡取り相談したりしている。		
42 地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは協議し、地域の状況等定期的に聞いたりしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医についてはご家族の希望を優先している。事業所の協力医ではない場合はご家族で対応して頂いているが、必要時には情報提供を行っている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医との連携にて相談、又必要な医療機関に受診して頂けるよう支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師を配置し、利用者の状態把握を行うと共に、かかりつけ医の看護職員とも、情報交換ができる関係が築けており、健康管理等の支援をしている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された時はサマリーを渡し情報提供している。又連絡も取り、退院日等ご家族と相談行っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族とも相談して文章で残している。又文章については協力医とも共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態悪化時には、家族、かかりつけ医とともに話し合い、事業所として、「できることとそうでないこと。」を見極め、日々をよりよく暮らしていただけるよう支援している。		今後の大きな課題だと思っている。ご家族、主治医、職員・看護師が連携し、ご利用者・ご家族が満足して頂ける終末を迎える体制作りをする必要がある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居前には、事前に家族等より本人様の情報をお聞きしたり、文章で提供して頂いている。退居時にはサマリー等作成し、今までの状態、状況等を提供している。</p>	
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ゆっくりとした口調で話しかけ、決して上の立場になって接しない様になっている。又職員には個人情報など漏らさない様、書面にて押印して提出している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>希望を訴えられる方もおられる。又要望や思い等聞く機会も作り、マンツーマン対応にてゆっくり傾聴させて頂いている。又必ず声掛けを行い、ご自分で決定して頂いていえる。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の方がリビングに集まられた時に、こちらから要望を聞き、その方のペースに合わせてのアドバイスをさせて頂き、一日を過ごして頂いている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>行事や外出時等は職員と一緒に洋服を選んだり、気温や必要に応じ傷つけない様声掛けを行っている。又理容、美容院は納得されるところ、希望がない方は近所のお店に行っている。起床時は整容をととのえさせて頂いている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各々の能力に合った下調理、味付け、盛り付けをして頂いている。		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒、タバコの方はおられない。コーヒータイム、おやつ等は毎回楽しみとされており、四季折々の品や行事等、一緒におはぎ、寿司など作っている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	それぞれの排泄パターンを把握、記録し、その方に応じて定期的に声掛け、誘導を行っている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に一日毎に実施しているも、汚染、発汗等その時々状況に応じて入って頂いている。又、毎日希望の方には柔軟に対応している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人お一人がご自分のペースにて決められ、昼食後昼寝、休息等されている、又外出前、入浴後等は声掛けにて休んで頂いている。夕食後は昆布茶を飲まれながら談笑され、リラックスしたりくつろいだりされ、心身ともに安定して床に就かれる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌体操、散歩などは日課となっている。又ドライブ、買物、喫茶、外食と機会ある毎に行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金はお預かりしている。一部管理できる利用者の方は、近くのお店にご家族了解にてお菓子など購入されている。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	声掛けにて散歩は日課にしており、食材の買物も出掛けている。又草取り、畑仕事等も手伝って頂いて、園庭一周等すると落ち着かれるので声掛けしている。		
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	要望により外食や喫茶など、ドライブを兼ねて出掛けている。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の方から要望があれば電話して頂いている。又手紙も郵便局まで一緒に行き投函して頂いている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来て頂ける様時間も制限していない。居室にて過ごされたり、リビングにて他の利用者の方と談笑されたりしておられる。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	週に一度の勉強会や書面を渡したり、折を見て伝えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	リビング、居室は特に施錠していないが、玄関は施錠している。田舎とは言えぶっそうな時代なので、利用者の方が出たいと言われたらその都度開錠し、出掛けて頂いている。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	トイレ、お風呂等は個々に応じて、プライバシーを配慮しながら介助、見守りを行っている。所在については、さりげなく自然な声掛けなどで把握するようにしている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	針などは時間を決めて自由に使用して頂いたり、個人に応じて対応している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行不安定な方は見守り、介助を行っている。火災、緊急時に対応できるよう定期的に訓練を行っている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応できる様に定期的に訓練を行っている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方の協力により、近くの小学校、公民館等避難出来る様にして頂いている。		段階に応じて、地域住民の方や、消防団の方と連携して、避難誘導訓練を行う必要がある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	個々の状態、状況については些細なことでも連絡し、了解や承諾を得るようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	出来ている。日々状態を共有し、少しでも変化があった場合は看護師、協力医に相談し、必要があれば受診など対応している。		
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬中の薬の種類や目的、副作用については個人のカルテに綴じており、把握してもらうようにしている。		
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給や散歩にて身体を動かす支援をしている。協力医への相談も必要に応じて行っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後は全員行っているが、朝、昼に関しては出来ている人と出来ていない人がいる。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通して支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成しており、いつでも見られるようにしてある。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使用した調理器具等はその都度ハイター消毒を行い、使用した食器も週に一度ハイター消毒を行っている。食材も前日に購入するようにしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲には利用者の方と花を植えたりしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、居室にはロールカーテンやカーテンを設置しており、台所にも自宅と同様に出入り出来るよう、又見守りのもと調理して頂けるようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所はないが、リビングにはソファや畳、冬にはコタツを設置しており、居場所づくりの支援をしている。		居室では一人になれるが、共有空間でも一人になれる空間を作れるように検討が必要。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お一人お一人に合った畳の間、ベッドを使用。居室には自分のテレビやタンスなどを置いておられる。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングにて毎温度、湿度を毎日定期的に計測し、居室などは各々にあったエアコン使用等を行っており、定期的に窓、天窓の開放をし、換気に努めている。またハルン臭の強い方には消臭剤を使用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりがあるが、トイレ、脱衣所等には不十分であり、しっかりした手すりの設置が必要である。		開園5年目になり、当初より入園の方もADLの低下も顕著であり、早急の設置が必要である。(一部居室にも)
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には手づくりの表札をつけ、トイレ、浴室にも理解できる様に明記している。又、月日、曜日等も利用者の方が毎日交換して下さる。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	園庭には四季折々の野菜や花を、職員、ご利用者共に作り、草取りなども楽しみながらされている。又ベンチ、傘付テーブル等を設置し、屋外でのコーヒータム等でリフレッシュに努めている。		ベランダなどの設置により、リビングより直接出入り出来、四季折々の自然の変化や風を肌で感じられる様に(サンルーム、団楽室)

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目 (南ユニット)		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない</p> <p>その日のお一人お一人の状態を見ながら、ご意向に沿って誠意を持ってケアにあたっている。又外出を好まれるので日々の買物、散歩以外に外食、ドライブ等定期的に行っている。</p>
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>10時、15時のコーヒータイムや食後等利用者の方と談笑したり、あまりご自分からお話しをされない方に対してはマンツーマン対応にて定期的に思いをお聞きしている。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>お一人お一人の出来る事、出来ない事やその方のペースを把握しケアにあたっている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>職員と関わりを持って頂き、出来た事に対し一緒に喜ぶ事で自信も持たれ、笑顔も見られ生き生きとした表情をされる。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>日常生活に必要な事、例えばカット、郵便局、買物等要望があれば一緒に出掛け、なるべくストレスがたまらない様に心掛けている。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>主治医やご家族と連携を図り、異常があれば夜間を問わず相談している。又バイタルチェックも行い、何か訴えがある時は相談に乗り、必要に応じ受診している。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>その時々状況に応じ職員は誠意を持って対応出来ていると思う。又帰宅願望のある方にはマンツーマンにて傾聴し、その時々要望にも対応している。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない</p> <p>ご家族とは利用者の方の状況等、密に連絡を取っている。又ご家族や利用者の方が不安に思っておられる事など安心して頂ける様お話ししたり、協力もして頂いている。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>毎年小学校の児童が来て下さったり、秋祭りの子供だんじりも立ち寄って頂いている。又地区の運動会や夏祭り等も声を掛けて頂き、参加させて頂いている。</p>

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	地区代表の方を媒介として、地区の方に協力して頂き理解者も増えてきている。今年度より、運営推進委員会に民生委員の方にも参加していただいている。
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	全ての職員が誠意を持って利用者の方と接しており、信頼関係も築けている。外出計画や室内の過ごし方等も積極的に考えたりと意欲的に働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	在宅では制約されていた事がグループホームではして頂けるので満足しておられると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	紙パンツから布パンツになられた方が3名、又ご家族との関係がうまく行っておられなかった方が現在では在宅になられたり、在宅では落ち着かれなかった方が穏やかに生活されておられる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者お一人お一人の生活暦を重視し、その方らしく生活して頂けるよう援助を行っている。

家族との連携も密に行い、情報を共有している。

今後は地域の中のグループホームであり、また同一法人に老健を有する事の強みを生かし、地域住民の方に介護に関する相談をして頂ける関係作りを推し進めていきたい。